

VISION

— 視線の先に — Vol.28

雲南プライド

— 市民と協働のまちづくり —

雲南市長
いし とび あつ し
石 飛 厚 志

市 長



面 積：553.18km²
人 口：36,660人
国保被保険者数：7,220人
(令和3年7月末時点)

ヤマタノオロチ伝説で知られる斐伊川
随所に残る 出雲神話の伝承地
桜並木 名瀑 棚田
美しく豊かな自然環境に恵まれたまち
「チャレンジ」の連鎖による
官民協働のまちづくり
そんな雲南市を訪ね
石飛市長の視線の先にある
「VISION」について伺いました



幸せを運ぶコウノトリと
共生するまちづくり
雲南市



子育てするなら雲南市

国保連合会 竹中事務局長（以下、竹中）

就任されて6カ月が経ちましたね。率直な感想などお聞かせいただけますか。

石飛 厚志 雲南市長（以下、石飛市長）

就任来、新型コロナウイルス感染症、大雨災害など、さまざまなことが起きています。目の前のこと一つ一つに、日々全力で対応しているというのが正直なところです。

竹中 大変お忙しいことと思います。

市長就任にあたっては、人口減少対策に重きを置かれているように受け止めました。その辺りについてはいかがでしょう。

石飛市長 人口がどんどん減っていけば、最終的に地域が守れません。地域社会を維持していくためには、人口の維持・拡大に向けた取り組みが必要です。そのため、移住・定住の推進を、重点的に進めていきたいと考えています。死亡者数が出生者数を上回る状態が続く中、

人口減少に歯止めをかけるためには、子育て世代を増やし出生率を高めることが不可欠です。20代30代の転出を防ぐ、あるいはU・Iターン者が増えるよう、子育て環境を整備していきます。

本市は、すでに待機児童ゼロを実現しており、預かり時間の拡大をはじめとした保育サービスの充実や中学校卒業までの医療費無料化なども実施しています。これまでの取り組みの効果もあり、令和2年度

市民アンケートの結果、保護者満足度は83%となりました。今年度から

は、子育て世帯の支援として、認定講習を終了した専門スタッフが家事や育児援助を行う「産前産後訪問サポート事業」



地域のボランティアによる子育て支援

を始めることとしています。必要ときに頼れる人が存在することで、出産や育児にも、多少なりとも安心感を持って臨んでいただけるものだと思いますので、積極的にご利用いただきたいです。

市民の皆さんをはじめたくさんの方に「子育てするなら雲南市」と思ってもらえるまちの実現を目指し、これからも取り組みを進めていきます。

雲南プライド

竹中 市長の施政方針では、地域経済の活性化やまちづくりについても触れていらつしやいましたね。

石飛市長 私は、「雲南プライド」というキーワードを軸に、雲南市で暮らす人々が、地域とそこで生み出されるものや文化に誇りをもって暮らせるまちを目指し、市民の皆さんと一緒にやって取り組んでいきたいと思っています。

「雲南プライド」は、教育、スポーツ、文化活動、ものづくり、地域づくり等、あらゆる分野に通じる概念として掲げました。現在、着々と醸成に向けた仕込みをしています。市民の皆さん一人一人がまちの魅力を確信し、発信していくことが大切です。そして、地域への愛着を持った人材を育ていくことも必要だと思っています。この地域で暮らしたいと思ってもらえるよう、スポーツや文化活動への支援も積極的に行っていく予定です。

例えばものづくりでは、ブランド米「プレミアムつや姫『たたら^{ほむろ}燐米』」の生産に力を注いでいます。三つのこだわり、土壌、粒の大きさ、品質の条件を満たした最高級ランクのものだけを厳選したお米です。作付けの推進を一層図り、ブランド力を拡大していきます。

地域づくりでは、5年連続でコウノトリのひなが誕生したという、喜ばしいニュースがありました。本市では、「幸せを運ぶコウノトリ」と共生するまちづくり」の推進を掲げ、市を挙げて保護活動等に取り組んでいます。コウノトリは、国の特別天然記念物、国内希少動物に指定されており、豊かな生態系の下でなければ生きることができません。そういった意味では、本市のすばらしい自然環境を表す一つの象徴であり、まちの誇りです。コウノトリの住む環境について理解を深め、市民の皆さんとともに育んでいきたいと思えます。



巣材を^{くわ}えて飛び跳ねるひな

まちづくりの基盤 「地域自主組織」

竹中 貴市では、住民が核となった地域自主組織によるまちづくりを展開されていますね。

石飛市長 本市は発足当初から、「地域自主組織」という、おおむね小学校区を一つの単位とした組織を基盤として、まちづくりを進めています。それぞれが工夫を凝らし、また、住民自らが地域課題を事業化し、解決に向けて取り組みます。行政側も地域ごとの特徴や違いを認め、活動をサポートしているところです。

昨春秋、商店街の空き家をリノベーションしたワーキングスペース「オトナリ」がオープンしました。これも、地域課題の一つ、若者世代が減っていくという現状に対し、まちににぎわいを創出したいという地域の思いが一つの形になったものです。「オトナリ」では、仕事利用だけでなく、若者を中心としたイベント開催等も行われています。コロナ禍でテレワークも普及しつつありますので、交流の輪を一層広げ、都市部から企業や人の流れをつくるとともに、魅力あるまちづくり、雇用の創出につなげていきたいと思っています。

一方、地域自主組織の運営にあたっては、次世代に目を向け、地域の担い手を育てていくことが必要です。そこで、人材育成を目的に、地域自主組織から



ワーキングスペース「オトナリ」

選出された方を受講生とした「地域経営カレッジ」を開催し、OJT(On the Job Training)を行う事業を実施しています。活力ある地域を維持していくために必要な取り組みです。継続していききたいと思えます。



「地域経営カレッジ」の様子

健康づくり活動から広がる 地域交流

竹中 健康に暮らせるまちづくりに向けたビジョン等についてはいかがですか。

石飛市長 病気になつてから治すのではなく、病気になる前、あるいは一つ病気があっても悪化させず、健康寿命を延ばしていくことが重要です。

本市では、日々の暮らしや地域での健康づくり活動に重点を置いてきました。そのため、市の保健師による保健活動や、地域で活躍する医療人材「コミュニティナース」の活動がとても活発です。地域と医療が早い段階で結び付くことは、健康づくりを進める上で最適な形だと思えますので、これからは積極的に支援していきます。

また、本市の
特徴的な活動は、
地域自主組織と
一緒に進める健康
なまちづくりです。

自主組織の一つ、
阿用地区振興協議
会では、本市にある
研究機関「身体
教育医学研究所
うんなん」と協働
考案したストレッチ
体操「アヨさん
体操」に取り組
まれています。



「うんなん幸雲体操」で筋力アップ!!

筋力増強を目的とした、おもりを使っ
て行う「うんなん幸雲体操」も、地区内6団体
96人の方が継続実施されています。参加されて
いる皆さんは「足腰の痛みが軽減する」「歩行
速度が速くなる」などの効果を実感されて
います。また、健康づくり活動を通じて、地区
全体に、交流や見守りの輪も広がっている
ところです。

企業チャレンジ —生活習慣病重症化予防 プロジェクト始動—

竹中 企業と連携した取り組みもあるよう
ですね。

石飛市長 本市では、地域と市内外の企業が
連携・協働して地域課題の解決を目指す取り
組み、「企業チャレンジ」を進めています。
地域だけでは解決が難しいことも、企業が持つ
サービスや技術力が加わることで、良い方向に
進んでいくこともあります。これまでも、都市圏
をはじめとした企業9社と連携協定を締結し、
地域密着でさまざまな実証事業に取り組んで
きました。

健康づくり分野の取り組みでは、今年の6月
に、住友生命保険相互会社と、名古屋大学
医学部発のヘルスケア企業と連携協定を締結
し、生活習慣病の重症化予防プロジェクトを
スタートさせたところです。スマートフォ
ンアプリと腕時計型測定器などにより、歩数、
脈拍、塩分摂取量を計測し、そのデータと食事の
写真等を参考にしながら、医療専門職がオン
ラインで生活習慣
の改善指導、健康
づくり支援等を行
います。地域
と連携して働き
盛り世代の方を
中心に参加者を
募りますが、プロ
ジェクトを通じて
地域全体の健康
意識を高めると
ともに、プログラ
ム終了後には結果



健康づくりに関する企業との連携協定調印式

分析をし、地域での健康づくり活動につなげて
いくこととしています。

地域医療連携推進法人 雲南市・奥出雲町 地域医療ネットワーク設立

竹中 健康なまちづくりに向けた体制について
はいかがでしょうか。

石飛市長 深刻な医師不足などもあり、雲南
圏域における医療提供体制は、万全とは言え
ません。改善に向けた取り組みが喫緊の課題
です。

このような中、6月29日、本市の雲南市立
病院と奥出雲町の町立奥出雲病院が連携した
「雲南市・奥出雲町地域医療ネットワーク」を
設立しました。医療資源が限られる中、地域
住民の暮らしを支えるためには、市町を越え
た取り組みが必要です。双方一体となつて、
医療従事者の確保や育成、医療提供体制の充実
を図っていくこととしております。具体的
には、院内感染防止や安全管理対策の強化に
向けた合同研修、両病院に在籍する認定看護師
の知識と技術の有効活用、在宅医療の相互連携
として患者情報の共有化などの仕組みづくり等
幅広く予定していますが、何よりこのネット
ワークが、地域の皆さんにより良質で適切な
医療を提供し、安心を届ける一つの手段として
うまく機能するよう、努めていきたいと思っ
ています。

竹中 国保連合会に望むこと等あればお聞かせください。

石飛市長 昨今、保健事業に対する取り組みが国策としても重視されていると感じております。

本市も、市民の健康づくり、健康維持・増進に向けて取り組んでおりますが、一つの自治体、一保険者だけでは進まない部分もあり、他保険者、関係機関等との連携が非常に重要だと思っております。国保連合会におかれましては、各保険者が効果的・効率的な健康づくり活動を進めるための支援や、情報提供、事業提案等をお願いいたします。

これから少しずつ…

竹中 石飛市長の健康法や趣味などお聞かせいただけますか。

石飛市長 健康法は運動と言いたるところですが、最近はおっぱら運動不足です(笑)。運動をして汗をかくというのは肉体的にも精神的にも良いと思います



本会竹中事務局長



最近運動不足(笑)

ので、これからは少しでも時間をつくって取り組みたいと思っています。
趣味はアイスホッケーですが、こちらも今は夏場ということもあつてできていません。冬になれば環境も整いますので、けがをしないようにやっつけていきたいと思っています。

明るい未来を目指して

竹中 最後になりましたが、貴市の観光振興等も踏まえてPRをお願いいたします。

石飛市長 雲南市といえば、日本さくら名所100選にも認定された斐伊川堤防の美しい桜並木をイメージいただけるのではないのでしょうか。ソメイヨシノに代表される桜の名所として、多くの方にお越しいただいております。しかし実は、市内全域、私の出身地である掛合や吉田地域にも、桜スポットがたくさんあります。加えて、大東の河津桜、三刀屋川河川敷の御衣黄と、開花のタイミング、品種の異なる桜が植えられておりますので、シーズンを通して長く桜を楽しむことができます。



冬はアイスホッケーを再開します

また、加茂岩倉遺跡やたたら製鉄など、歴史的、文化的遺産も多く残るまちです。観光資源としての知名度はまだ高くありませんが、古代出雲神話の舞台として、出雲圏域や中海宍道湖圏域といった近隣市町と

一緒になって観光ルートを開発し、ストーリー性を持ったPRを進めていきたいと考えております。

本市は、美しく豊かな自然環境に恵まれ、古代からの歴史・文化が息づくまちです。そして、明るい未来を目指し、地域の支え合いとチャレンジの連鎖によって、安心して暮らし続けられるまちの実現に向けて、市民の皆さんと一緒に取り組んでいます。

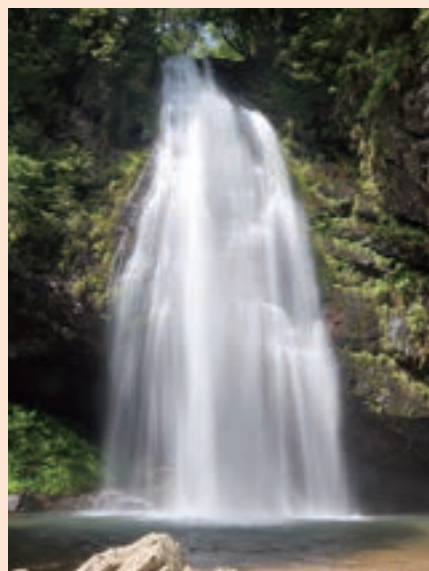
ぜひ、雲南市へお越しください。



斐伊川堤防の桜並木



黄緑色の桜「御衣黄」



中国地方随一とも称される名瀑「龍頭が滝」